



荒川河川敷の旧鎌倉街道から見た釜伏山。遠くに見える山々は上州の山並み。



②小被神社
(男衾郡総鎮守・村社・寄居町富田鎮座)
祭神：瓊々杵尊・木花咲椰姫命・彦火火出見尊
大和時代第27代安閑天皇の時に、土地の豪族富田鹿(とみたろく)が地主神である小被神を祀ったことにはじまる。恐らくは男衾郡の部民を支配した壬生氏の祭祀する神社とされる。



⑬長昌寺
・天台宗・赤浜普光寺の末寺、高浄山、泉龍院長昌寺と号す。元和年中開創、元禄中年に焼失、元文二年に再建され、現在の宇本尊等は当時のものである。本尊阿彌陀如来は弥陀の定印を結び、右足上に結跏趺坐する像ですばらしい技法の美術である。また、円空作の円空仏があり、5月の連休頃には見事な藤の花が迎えてくれる。



⑩大日堂
ご本尊は金剛界大日如来 不動寺から天神山に向かう途中に新しい本堂がある。県指定の板石碑塔婆がある。(胎蔵界曼荼羅) 一見の価値ある板碑です。



⑫旧鎌倉街道 普光寺の右側には「史跡『鎌倉街道』上道」の標柱が立っている。



⑮市野川そば 長昌寺近くの県道脇に珍しい双対道祖神がひっそりと祀られている



③出雲乃伊波比神社
(郷社・大里郡寄居町赤浜鎮座)
祭神：須佐之男命・三穂津姫命・天太玉命・菅田別命・天児屋根命
赤浜は古くからの鎌倉街道に沿った宿駅。ただもともと赤浜は荒川近くの集落であり、洪水によって天正8年(1580)に、旧地より水の害のない標高の高い現在地に神社共々移ってきた。旧地付近は土地改良により記念碑と宮乃井という井戸が名残をとどめるのみである。



⑭不動寺
新義真言宗・ご本尊は不動明王 平安時代末期にこの地を領有した不動寺太郎の居館跡と伝わる。不動寺氏は猪俣党の一族で猪俣時範の次男忠任が男衾氏を称し、その子の太郎(実名不詳)が不動寺氏を名乗ったのが始まり。
1本の木から作られた2体の仁王様のいる鐘楼門が珍しい。休憩所もありゆっくりできます。



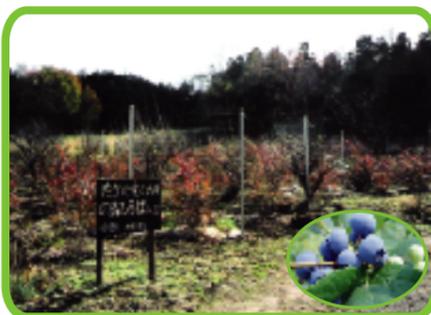
⑯JAふかや男衾農産物直売所 新鮮な取れたて野菜が大好評。価格も安く地元の人だけでなく、土日には東京方面からも新鮮な野菜を求められます。お土産に最高です！
※水曜日休みです。お問合せ：048-582-0909



⑤三島神社
この神社に伝わる鰐口は「武蔵国男衾郡塚田宿三嶋宮鰐口」
応永二年(1395)乙亥三月廿七日とあります。塚田は金井(坂戸市)小用(鳩山町)と並んで中世に鑄物業が盛んであったと伝え、この鰐口も地元在住の鑄物師によって造られたものだそうです。ところで皆さんは鰐口(わにぐち)とはどんなものかご存じでしょうか。神社の社殿やお寺のお堂の前の参拝所の軒下に吊し綱を振って打ち鳴らす円盤状の金鼓。



⑮常楽寺
新義真言宗 五眼山・密厳院常楽寺
開山は鎌倉末期と伝えられ、寄居七福神のひとつで恵比寿様が祭られている。ご本尊は行基作、大日如来、脇に薬師如来、閻魔王、馬頭観音をまつり、薬師は病氣平癒に、閻魔王は地獄の救い手として信仰されている。正月には「二十日えびす」として地域の人々に信仰されている。



⑪たかのすくぬぎの森
広場四季折々、里山のよさを感じるこの出来る憩いの森。キャンプ、フルーツ(ブルーベリー7月中旬~8月末)狩り、バーベキューと楽しみの多い観光スポット。ハイキングの途中に気軽に立ち寄れる広場です。
お問合せは：048-582-1039 吉田グリーンまで



⑯アカシヤ街道(川越岩) 赤浜下の川沿いにある道筋。春には菜の花、秋には彼岸花が咲き散策する人の目を楽しませてくれる。そばには川越岩が川の中にある、この岩は鎌倉街道の其頃の渡場跡で、半左瀬、川越岩は赤浜の渡場跡に現在も残っています。



よりいトンボ自然館
すぐそばの牟礼会館では有志が凧造り教室も開催されます。



④普光寺・旧鎌倉街道
天台宗のお寺でご本尊は薬師如来。江戸時代の板碑54基が残っている。門前に「境内東端に旧来の道幅で鎌倉街道の遺稿が現存する」と説明が出て。横に回ると「史跡『鎌倉街道』上道」の標柱が立っている。



⑧地蔵堂・鎌倉街道
北条政子ゆかりの地蔵尊で、鎌倉時代政子の願いにより当地の桜の木で彫刻された一体地蔵尊(関東一)として、病の平癒や子育て安産などの信仰が昔から伝えられています。3.14mもある巨大な木造地蔵菩薩像が安置されている。境内には旧鎌倉街道に関する文献が掲示されています。



⑯おぶすまトンボの里公園
トンボを愛する町の有志が完成させたトンボの里公園。秋にはたくさんのトンボが飛び交いその種類の多さに驚きます。近くには、よりいトンボ自然館があり、珍しい標本等が展示されています。入場料は無料です。



⑦高蔵寺
天台宗比叡山延暦寺の末寺
ご本尊は阿彌陀如来
開基は江戸時代、柳沢兵部丞信俊による。柳沢吉保の祖父。武蔵野国十三仏霊場第1番札所になる。山門の赤色は延暦寺と同じで同じで特別の門となります。
春にははだれ桜が見事です。



⑫東全院
禅宗曹洞派ご本尊は聖観世音菩薩
開山は安土桃山時代、地頭の青木尾張守一族によって開基。男衾地区のお寺で院のつくお寺はここだけ。昔は尼寺だった名残の名前とか。春にはさくらがきれいに咲き誇り近在の人々が花見会等を行う。



⑰天神山
男衾駅から50分も歩けば頂上という低い山で、その昔、周辺住民はこの山の最も高い部分の岩肌、学問の神、菅原道真公を祀り「鎮守の森」として、崇拝していました。昭和16年に天神社は富田の現在地に移転しました。頂上休憩所からは、眼下の寄居町から広がる関東平野、その向こうには、北関東の山や上州の山まで雄大な景色が一望できます。